



## 2019年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月10日

上場会社名 オールウィル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3143 URL <https://owill.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 小口 英器  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 青柳 あゆみ TEL 03 (5772) 4488  
 定時株主総会開催予定日 2019年6月26日 配当支払開始予定日 2019年6月27日  
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月27日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2019年3月期の連結業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	31,375	1.1	595	35.6	593	28.5	411	37.2
2018年3月期	31,033	10.4	439	34.6	461	39.4	300	48.1

（注）包括利益 2019年3月期 502百万円（80.0%） 2018年3月期 279百万円（3.1%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	130.73	—	16.8	5.3	1.9
2018年3月期	95.29	—	13.8	4.6	1.4

（参考）持分法投資損益 2019年3月期 ー百万円 2018年3月期 ー百万円

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	11,224	2,706	23.6	842.11
2018年3月期	11,155	2,308	20.3	717.86

（参考）自己資本 2019年3月期 2,652百万円 2018年3月期 2,261百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	890	△67	△618	2,040
2018年3月期	△64	△84	250	1,820

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	0.00	—	33.00	33.00	103	34.6	4.6
2019年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00	125	30.6	4.7
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00		28.0	

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,600	5.5	413	△11.5	414	△8.1	294	△7.5	93.34
通期	32,000	2.0	646	8.4	648	9.2	450	9.3	142.86

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 0社、除外 0社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無  
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2019年3月期	3,150,000株	2018年3月期	3,150,000株
2019年3月期	260株	2018年3月期	211株
2019年3月期	3,149,762株	2018年3月期	3,149,789株

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	30,644	0.5	548	26.5	549	18.9	380	27.6
2018年3月期	30,488	11.6	433	55.2	461	57.3	298	63.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	120.89	—
2018年3月期	94.75	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2019年3月期	11,041	2,635	2,635	2,285	23.9	836.76	725.72	
2018年3月期	11,065	2,285	2,285	2,285	20.7	725.72	725.72	

(参考) 自己資本 2019年3月期 2,635百万円 2018年3月期 2,285百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 企業集団の状況	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
4. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
5. 個別財務諸表及び主な注記	17
(1) 貸借対照表	17
(2) 損益計算書	19
(3) 株主資本等変動計算書	20

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、豪雨や地震などの自然災害の影響があったものの企業収益は堅調に推移し、設備投資の増加や雇用・所得環境の改善が継続していることを背景に、景気は緩やかな回復基調となりました。一方、世界経済においては、長期化する米中貿易摩擦の影響や中国経済減速の懸念など、景気の先行きに不透明感があり、楽観視できない状況が続いております。

当社グループの主力マーケットである食品飲料業界におきましては、原材料価格や人件費の上昇により、一部商品価格改定の実施を余儀なくされるなど、厳しい経営環境が続いております。そのような中、メーカー各社は、多様化した個人ニーズやトレンドに対応した商品開発に注力するとともに、リニューアル商品を適時投入し、市場の活性化を図っております。

このような状況のもと、当社グループは「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安全な商品を提供することを第一に品質管理体制の強化を図り、お客様のニーズに合わせた安定的な供給の継続及びサービスの向上に努めてまいりました。当連結会計年度におきましては、特に既存事業の深耕ならびに新規商材の開拓に注力し、国内事業及び海外事業の基盤強化を図ってまいりました。卸売事業において、主力カテゴリーである食品副原料や農産物加工品の取扱いアイテムが増加したことや環境ビジネス関連の排水浄化プラントや大型シーリングファンの成約件数が増加したことにより、当連結会計年度の売上高は31,375,549千円（前期比1.1%増）となりました。また利益面においては、売上高利益率の改善や販売管理費の削減が奏効したことから大幅な増益となりました。この結果、営業利益595,878千円（前期比35.6%増）、経常利益593,171千円（前期比28.5%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は411,763千円（前期比37.2%増）となりました。

また、総資産は11,224,686千円（前期末比0.6%増）、純資産は2,706,764千円（前期末比17.3%増）となり、自己資本比率は23.6%となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

#### <卸売事業>

当連結会計年度の清涼飲料市場は、各地で発生した大規模な自然災害による影響はあったものの、夏場の記録的な猛暑により無糖茶飲料、炭酸飲料、ミネラルウォーター、スポーツドリンクなどの飲料が伸長し、2010年から8年連続成長と堅調に推移いたしました。メーカー各社は、主力ブランドの拡張や新需要の喚起に注力し、事業基盤の強化を図っておりますが、企業間競争の激化や生産コストの上昇など、国内の経営環境は厳しく、海外事業の開拓や他事業への展開を推し進めております。

このような状況のもと、当社グループは、取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努め、既存取引先へのサービス向上はもちろんのこと、新規商材の開発・販促に注力し、取引先の拡大や利益率改善を図ってまいりました。利益率の低い一部のPB飲料製品の取引を解消したことにより、飲料製品の販売数量が減少したものの、価格競争力のある輸入品の調達に拡大に努め、既存取引先への拡販を強化したことにより、主力商品であるビタミンCなどの食品副原料、ジャスミン茶や果汁などの農産物加工品の販売数量が増加いたしました。また、当社の強みである国内外の食品飲料メーカーや物流会社との取引関係を活かした新規事業は着実に進展し、排水浄化プラントや屋内施設向けの大型シーリングファンの売上が伸長いたしました。

この結果、卸売事業の売上高は30,492,585千円（前期比0.8%増）となりました。

#### <製造販売事業>

アイスクリームを主とする氷菓市場は、デザートとしての地位が消費者に定着したことに加えて、スイーツ系アイスなどの高価格帯商品の伸長もあり、市場規模が拡大しております。メーカー各社は、付加価値の高い商品開発を推し進める一方、製品の品質及び安定供給の維持に努めておりますが、原材料費や人件費、物流費などの上昇により、収益確保が厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは安心かつ安全な商品の提供を第一に、美味しさと素材にこだわった高品質で体にやさしいアイスクリームの開発に注力し、NB商品の販売強化ならびに取引先のニーズに合ったPB商品の提供に努めてまいりました。健康志向の顧客ニーズに合わせた低糖質アイスクリーム「Loccoとやさしいあすくりーむ」を開発し、NB商品の販売数量が増加したほか、大手スーパーや大手レジャーランド向けのバルクアイスやアイスキャンディーなど、新企画のPB商品の受注が増加したことから、製造販売事業の売上高は720,173千円（前期比7.4%増）となりました。

<その他の事業>

その他の事業につきましては、FC事業がありますが、当社グループは東京大手町地区にてコンビニエンスストアを4店舗経営しております。店舗運営の基本であるSQC（サービス、クオリティ、クリンネス）のレベルアップに努め、既存店舗の活性化を図ったこと、また、同地区の外国人観光客の来店頻度が高まったことから日販が増加し、その他の事業の売上高は809,906千円（前期比4.0%増）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の取引を含んでおります。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は、主に現金及び預金、商品及び製品が増加したものの受取手形及び売掛金の減少により9,910,003千円（前期末比0.0%減）になりました。また固定資産は、主に投資有価証券の増加により1,314,682千円（前期末比5.7%増）になり、この結果、当連結会計年度末における資産は11,224,686千円（前期末比0.6%増）となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は、主に買掛金の増加により、7,289,572千円（前期末比0.7%増）となりました。また固定負債は、主に長期借入金の減少により1,228,348千円（前期末比23.7%減）となりました。この結果、当連結会計年度末における負債は8,517,921千円（前期末比3.7%減）となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、主に利益剰余金の増加により、2,706,764千円（前期末比17.3%増）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、2,040,402千円（前期末比12.1%増）となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、890,568千円（前期は64,347千円の支出）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益の増加や売上債権が減少したことに加え、仕入債務が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、67,430千円（前期比20.1%減）となりました。これは主に有形固定資産の取得にともなう支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、618,148千円（前期は250,761千円の収入）となりました。これは主に長期借入金の返済によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第29期 2015年3月期	第30期 2016年3月期	第31期 2017年3月期	第32期 2018年3月期	第33期 2019年3月期
自己資本比率 (%)	24.8	25.0	23.8	20.3	23.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	32.6	29.1	29.2	38.5	31.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	—	2,579.6	689.4	—	212.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	6.2	30.7	—	88.6

※ 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

- (注) 1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数により算出しております。
2. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。
3. 第29期及び第32期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、記載していません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、引き続き緩やかな回復基調が期待されるものの、消費税増税による個人消費への影響や米中貿易摩擦の影響による海外景気の下振れリスクなど、景気の先行きについては不透明な状況であることが予想されます。また、新興国経済の減速や日本の少子高齢化社会が経済全体に与える影響は大きく、企業の収益構造の改善は、今後の重要な課題となっております。一方で、当社の主力マーケットである食品飲料業界においては、新興国の需要増加による食料需給の逼迫や気候変動による食品原材料価格の高騰は避けられず、食料調達力が重要な鍵となることから、今後は各国において食料確保に向けた取組みがより強化されていくものと思われま

す。このような経営環境のもと、当社グループは、国内外の市場動向や多様な消費者ニーズを迅速に捉え、食の安全性の確保と安定供給の継続を第一に顧客サービスの一層の充実に努め、収益の拡大を図るとともに、品質管理体制をさらに強化し、調達網の拡大に注力してまいります。2020年3月期におきましては、事業の選択と集中を加速し、「サービス、クオリティの向上による既存事業の基盤強化」「ワンストップビジネスモデルの確立」「戦略商品の更なる拡販及び新規輸入品の開発」「中期的な成長分野と位置付ける海外事業及び環境事業の拡大」をテーマとした予算編成方針のもと、予算を策定しております。2020年3月期通期の業績予想といたしましては、売上高32,000,000千円（当年同期比2.0%増）、営業利益646,000千円（当年同期比8.4%増）、経常利益648,000千円（当年同期比9.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益450,000千円（当年同期比9.3%増）を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主への利益還元を経営の重要課題と位置づけており、業績の伸長に沿った適正な利益配分の継続と安定的な配当水準の維持を基本方針としております。

当期の配当金は、当初公表させていただいている通り、1株当たり40円を予定しております。なお、次期の配当につきましても、上記の方針を踏まえ、1株につき40円の年間配当金とする予定であります。

## 2. 企業集団の状況

当社グループは、オーウイル株式会社(当社)及び子会社である株式会社サンオーネスト、並びに海外子会社のO'WILL(ASIA)HOLDINGS PTE.LTD.、J.S.O'will, Inc.にて構成されており、その主な事業内容は以下の通りであります。

### ① 卸売事業

食品、飲料の製造や保存・加工などに使用するビタミン類、食品添加物、殺菌乳、野菜果実加工品等の原料や窒素、珪藻土等の資材を国内外より調達して取引先に販売するほか、大手量販店及びコンビニエンスストア向けPB(プライベートブランド)飲料製品の販売等を行っております。また、米国子会社においては、業務用ヒーターを扱っております。

### ② 製造販売事業

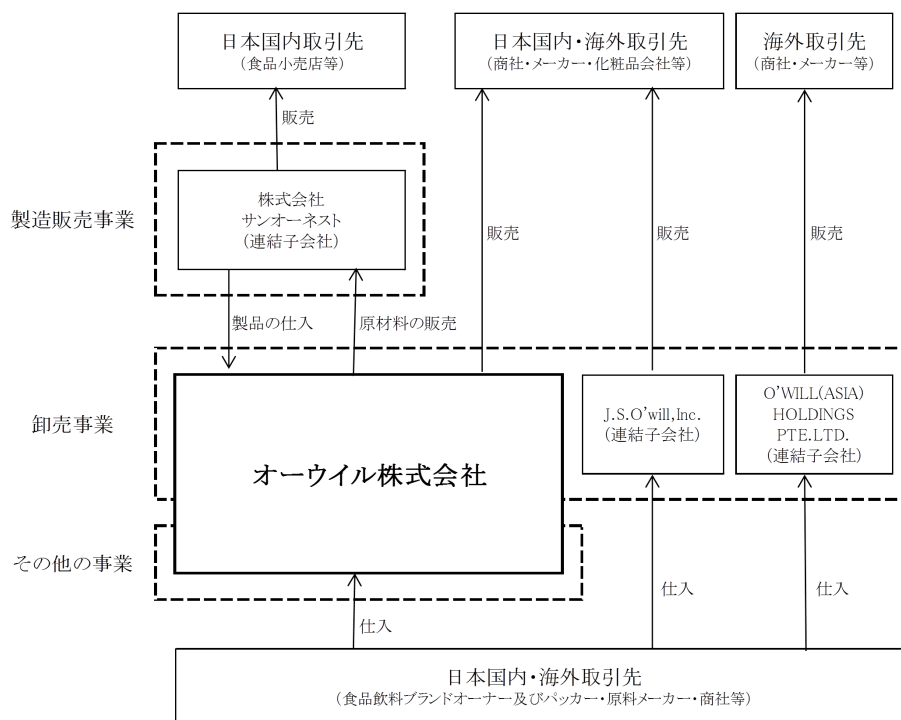
子会社の株式会社サンオーネストにて、アイスクリームの製造・販売を行っております。

### ③ その他の事業

コンビニエンスストアのエリアフランチャイジー事業等を行っております。

#### [事業系統図]

当社グループの事業内容を系統図によって示すと、次のとおりであります。



## 3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,820,721	2,040,402
受取手形及び売掛金	5,432,843	5,181,516
商品及び製品	1,575,866	1,705,241
未着商品	589,708	562,580
原材料及び貯蔵品	25,955	30,778
前渡金	52	190,684
未収入金	445,770	172,329
その他	27,538	32,270
貸倒引当金	△6,430	△5,800
流動資産合計	9,912,026	9,910,003
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	432,980	433,769
減価償却累計額	△175,669	△188,570
建物及び構築物(純額)	257,311	245,198
機械及び装置	126,951	139,342
減価償却累計額	△59,844	△75,518
機械及び装置(純額)	67,107	63,823
車両運搬具	27,656	20,437
減価償却累計額	△24,413	△20,437
車両運搬具(純額)	3,243	0
工具、器具及び備品	134,786	130,425
減価償却累計額	△107,474	△106,886
工具、器具及び備品(純額)	27,312	23,538
土地	9,000	9,000
リース資産	191,168	191,168
減価償却累計額	△117,379	△148,186
リース資産(純額)	73,789	42,982
建設仮勘定	8,700	55,700
有形固定資産合計	446,464	440,242
無形固定資産		
ソフトウェア	23,542	5,593
その他	1,638	1,638
無形固定資産合計	25,181	7,232
投資その他の資産		
投資有価証券	487,659	582,679
ゴルフ会員権	162,300	162,300
差入保証金	89,665	89,682
繰延税金資産	3,494	3,577
その他	28,967	28,967
投資その他の資産合計	772,085	867,207
固定資産合計	1,243,732	1,314,682
資産合計	11,155,759	11,224,686



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,323,541	5,703,974
1年内返済予定の長期借入金	791,964	696,722
リース債務	32,238	16,293
未払金	825,951	455,338
未払法人税等	137,476	105,592
前受金	18,677	193,104
賞与引当金	38,521	41,683
その他	69,997	76,863
流動負債合計	7,238,368	7,289,572
固定負債		
長期借入金	1,522,624	1,135,903
リース債務	55,345	39,052
繰延税金負債	26,839	50,074
資産除去債務	4,513	3,318
固定負債合計	1,609,322	1,228,348
負債合計	8,847,691	8,517,921
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	292,475	292,475
利益剰余金	1,418,905	1,726,725
自己株式	△129	△200
株主資本合計	2,074,638	2,382,388
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	169,873	235,798
繰延ヘッジ損益	△7,165	△114
為替換算調整勘定	23,775	34,358
その他の包括利益累計額合計	186,483	270,043
非支配株主持分	46,945	54,333
純資産合計	2,308,067	2,706,764
負債純資産合計	11,155,759	11,224,686

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	31,033,847	31,375,549
売上原価	28,352,414	28,532,870
売上総利益	2,681,432	2,842,678
販売費及び一般管理費	2,242,048	2,246,800
営業利益	439,383	595,878
営業外収益		
受取利息	386	741
受取配当金	7,522	7,948
為替差益	22,396	—
受取手数料	6,444	6,444
受取補償金	4,493	8,084
その他	690	2,268
営業外収益合計	41,934	25,487
営業外費用		
支払利息	9,981	10,158
為替差損	—	15,702
支払補償費	4,172	2,073
その他	5,378	259
営業外費用合計	19,532	28,193
経常利益	461,785	593,171
特別損失		
減損損失	9,040	—
特別損失合計	9,040	—
税金等調整前当期純利益	452,745	593,171
法人税、住民税及び事業税	174,330	186,132
法人税等調整額	△21,615	△10,009
法人税等合計	152,714	176,122
当期純利益	300,030	417,049
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△102	5,285
親会社株主に帰属する当期純利益	300,132	411,763

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	300,030	417,049
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,251	65,925
繰延ヘッジ損益	△10,409	7,051
為替換算調整勘定	△14,641	12,685
その他の包括利益合計	△20,798	85,661
包括利益	279,231	502,710
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	281,960	495,323
非支配株主に係る包括利益	△2,728	7,387

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	363,387	292,475	1,213,265	△129	1,868,998
当期変動額					
剰余金の配当			△94,493		△94,493
親会社株主に帰属する当期純利益			300,132		300,132
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	205,639	—	205,639
当期末残高	363,387	292,475	1,418,905	△129	2,074,638

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	165,622	3,244	35,790	204,656	49,674	2,123,329
当期変動額						
剰余金の配当						△94,493
親会社株主に帰属する当期純利益						300,132
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	4,251	△10,409	△12,014	△18,172	△2,728	△20,901
当期変動額合計	4,251	△10,409	△12,014	△18,172	△2,728	184,738
当期末残高	169,873	△7,165	23,775	186,483	46,945	2,308,067

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	363,387	292,475	1,418,905	△129	2,074,638
当期変動額					
剰余金の配当			△103,943		△103,943
親会社株主に帰属する当期純利益			411,763		411,763
自己株式の取得				△70	△70
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	307,820	△70	307,750
当期末残高	363,387	292,475	1,726,725	△200	2,382,388

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	其他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	169,873	△7,165	23,775	186,483	46,945	2,308,067
当期変動額						
剰余金の配当						△103,943
親会社株主に帰属する当期純利益						411,763
自己株式の取得						△70
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	65,925	7,051	10,583	83,559	7,387	90,947
当期変動額合計	65,925	7,051	10,583	83,559	7,387	398,697
当期末残高	235,798	△114	34,358	270,043	54,333	2,706,764

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	452,745	593,171
減価償却費	94,797	88,522
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,130	△630
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,743	3,161
受取利息及び受取配当金	△7,908	△8,689
支払利息	9,981	10,158
減損損失	9,040	—
為替差損益 (△は益)	7,972	△7,224
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,557,598	257,228
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△625,933	△106,233
未収入金の増減額 (△は増加)	△192,663	273,448
前渡金の増減額 (△は増加)	1,329	△190,646
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,514,993	378,068
未払金の増減額 (△は減少)	281,185	△369,043
前受金の増減額 (△は減少)	18,677	174,426
その他	20,610	5,013
小計	32,101	1,100,730
利息及び配当金の受取額	7,908	8,689
利息の支払額	△10,051	△10,046
法人税等の支払額	△94,306	△208,805
営業活動によるキャッシュ・フロー	△64,347	890,568
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△84,735	△67,430
差入保証金の差入による支出	△160	—
差入保証金の回収による収入	500	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△84,395	△67,430
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,200,000	350,000
長期借入金の返済による支出	△827,272	△831,962
リース債務の返済による支出	△27,651	△32,238
自己株式の取得による支出	—	△70
配当金の支払額	△94,314	△103,878
財務活動によるキャッシュ・フロー	250,761	△618,148
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,883	14,690
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	85,135	219,681
現金及び現金同等物の期首残高	1,735,586	1,820,721
現金及び現金同等物の期末残高	1,820,721	2,040,402

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは事業内容及び市場の類似性を考慮し、下記の2つを報告セグメントとしております。

区分	主要商品又は事業内容
卸売事業	飲料、食品の製造用原料・資材及び製品の国内販売、輸出入取引 (ビタミン類, 食品添加物, 殺菌乳, 野菜果実加工品, 飲料製品等)
製造販売事業	アイスクリーム等の製造販売

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメント間の取引は、一般的な商取引と同様の条件で行っております。

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務 諸表計上 額 (注)3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	30,072,271	182,734	30,255,006	778,841	31,033,847	—	31,033,847
セグメント間の内部売上 高又は振替高	164,664	488,127	652,792	—	652,792	△652,792	—
計	30,236,935	670,862	30,907,798	778,841	31,686,639	△652,792	31,033,847
セグメント利益	433,212	2,620	435,833	3,544	439,378	5	439,383
セグメント資産	10,956,135	527,550	11,483,686	122,240	11,605,926	△450,167	11,155,759
その他の項目							
減価償却費	57,363	32,750	90,114	4,682	94,797	—	94,797
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	52,296	81,601	133,898	1,870	135,768	—	135,768

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務 諸表計上 額 (注)3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	30,301,726	263,916	30,565,642	809,906	31,375,549	—	31,375,549
セグメント間の内部売上 高又は振替高	190,858	456,257	647,115	—	647,115	△647,115	—
計	30,492,585	720,173	31,212,758	809,906	32,022,665	△647,115	31,375,549
セグメント利益	578,394	7,334	585,728	11,126	596,855	△976	595,878
セグメント資産	10,973,917	611,852	11,585,770	123,769	11,709,539	△484,853	11,224,686
その他の項目							
減価償却費	50,036	35,816	85,852	2,669	88,522	—	88,522
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	2,424	63,324	65,749	—	65,749	—	65,749

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含めない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益又はセグメント損失(△)

(単位:千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	5	△976
合計	5	△976

セグメント資産

(単位:千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△450,167	△484,853
合計	△450,167	△484,853

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。



【関連情報】

前連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の開示をしているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社伊藤園	4,333,942	卸売事業

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の開示をしているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社伊藤園	4,862,731	卸売事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自2017年4月1日 至2018年3月31日）

(単位：千円)

	卸売事業	製造販売事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	—	—	9,040	—	9,040

当連結会計年度（自2018年4月1日 至2019年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	717.86円	842.11円
1株当たり当期純利益金額	95.29円	130.73円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	300,132	411,763
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	300,132	411,763
期中平均株式数(株)	3,149,789	3,149,762

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,594,576	1,669,877
受取手形	68,722	65,227
売掛金	5,269,529	5,067,840
商品及び製品	1,556,611	1,653,088
未着商品	593,019	573,471
前渡金	52	190,684
前払費用	20,197	23,968
関係会社短期貸付金	28,400	28,400
未収入金	465,918	182,672
その他	4,290	4,585
貸倒引当金	△6,000	△5,400
流動資産合計	9,595,317	9,454,414
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	160,547	159,413
減価償却累計額	△88,113	△93,209
建物(純額)	72,433	66,203
機械及び装置	7,500	7,500
減価償却累計額	△7,499	△7,499
機械及び装置(純額)	0	0
車両運搬具	12,032	12,032
減価償却累計額	△11,175	△12,032
車両運搬具(純額)	856	0
工具、器具及び備品	62,215	57,698
減価償却累計額	△44,705	△42,373
工具、器具及び備品(純額)	17,509	15,324
土地	9,000	9,000
リース資産	46,900	46,900
減価償却累計額	△18,564	△40,842
リース資産(純額)	28,335	6,057
有形固定資産合計	128,135	96,585
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	23,262	5,593
その他	1,158	1,158
無形固定資産合計	24,421	6,752
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	487,659	582,679
関係会社株式	304,595	304,595
関係会社長期貸付金	253,400	325,000
ゴルフ会員権	162,300	162,300
差入保証金	80,346	80,346
その他	28,967	28,967
投資その他の資産合計	1,317,268	1,483,888
固定資産合計	1,469,825	1,587,226
資産合計	11,065,142	11,041,641

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,348,232	5,680,381
1年内返済予定の長期借入金	791,964	696,723
リース債務	22,482	6,153
未払金	812,832	437,405
未払費用	12,597	13,743
未払法人税等	136,079	105,296
前受金	18,677	193,104
預り金	14,420	14,292
賞与引当金	38,521	41,683
為替予約	10,327	164
その他	13,707	28,803
流動負債合計	7,219,842	7,217,750
固定負債		
長期借入金	1,522,624	1,135,903
リース債務	6,153	—
繰延税金負債	26,158	49,079
資産除去債務	4,513	3,318
固定負債合計	1,559,449	1,188,300
負債合計	8,779,291	8,406,051
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金		
資本準備金	288,387	288,387
資本剰余金合計	288,387	288,387
利益剰余金		
利益準備金	2,465	2,465
その他利益剰余金		
別途積立金	50,000	50,000
繰越利益剰余金	1,419,032	1,695,865
利益剰余金合計	1,471,497	1,748,330
自己株式	△129	△200
株主資本合計	2,123,142	2,399,905
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	169,873	235,798
繰延ヘッジ損益	△7,165	△114
評価・換算差額等合計	162,708	235,684
純資産合計	2,285,850	2,635,589
負債純資産合計	11,065,142	11,041,641

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	30,488,071	30,644,812
売上原価		
商品期首たな卸高	1,091,760	1,556,611
当期商品仕入高	28,549,238	28,218,145
合計	29,640,998	29,774,756
商品期末たな卸高	1,556,611	1,653,088
商品売上原価	28,084,387	28,121,668
売上総利益	2,403,684	2,523,143
販売費及び一般管理費	1,969,910	1,974,451
営業利益	433,774	548,692
営業外収益		
受取利息	2,758	2,949
受取配当金	7,522	7,948
為替差益	23,089	—
受取手数料	6,444	6,444
受取補償金	4,425	8,035
その他	255	945
営業外収益合計	44,494	26,322
営業外費用		
支払利息	7,237	7,819
為替差損	—	15,837
支払補償費	4,172	2,073
その他	4,929	147
営業外費用合計	16,340	25,878
経常利益	461,928	549,136
特別損失		
減損損失	9,040	—
特別損失合計	9,040	—
税引前当期純利益	452,888	549,136
法人税、住民税及び事業税	171,656	177,646
法人税等調整額	△17,213	△9,286
法人税等合計	154,443	168,360
当期純利益	298,444	380,776

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	363,387	288,387	288,387	2,465	50,000	1,215,081	1,267,546	△129	1,919,191
当期変動額									
剰余金の配当						△94,493	△94,493		△94,493
当期純利益						298,444	298,444		298,444
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									—
当期変動額合計	—	—	—	—	—	203,950	203,950	—	203,950
当期末残高	363,387	288,387	288,387	2,465	50,000	1,419,032	1,471,497	△129	2,123,142

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	165,622	3,244	168,866	2,088,057
当期変動額				
剰余金の配当				△94,493
当期純利益				298,444
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	4,251	△10,409	△6,157	△6,157
当期変動額合計	4,251	△10,409	△6,157	197,793
当期末残高	169,873	△7,165	162,708	2,285,850

当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	363,387	288,387	288,387	2,465	50,000	1,419,032	1,471,497	△129	2,123,142
当期変動額									
剰余金の配当						△103,943	△103,943		△103,943
当期純利益						380,776	380,776		380,776
自己株式の取得								△70	△70
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									-
当期変動額合計	-	-	-	-	-	276,833	276,833	△70	276,763
当期末残高	363,387	288,387	288,387	2,465	50,000	1,695,865	1,748,330	△200	2,399,905

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	169,873	△7,165	162,708	2,285,850
当期変動額				
剰余金の配当				△103,943
当期純利益				380,776
自己株式の取得				△70
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	65,925	7,051	72,976	72,976
当期変動額合計	65,925	7,051	72,976	349,739
当期末残高	235,798	△114	235,684	2,635,589